

## 全校朝会（二月と冬のオリンピック）

2018. 2. 5

6年生に、元気・健康の秘訣を聞きました。

2月になりました。みなさんは、「にしむくさむらい」という言葉を知っていますか。「二月」「四月」「六月」「九月」「十一月」をさしています。十一は、くっつけて書くと「武士」の「土」という字になるので、この5つの月をあわせて「にしむくさむらい」と言います。本当は、この言葉の後に「小の月」という言葉が続きます。この5つの月は1か月が30日以下の月なのです。反対に、「一月」「三月」「五月」「七月」「八月」「十月」「十二月」の7か月は31日までである「大の月」と言うことになります。

1年は365日、4年に一度は366日あります。366日だと、30日の月も31の月も6か月ずつで奇数の一、三、五、七、九、十一を31日、それ以外の月を30日にすれば一番分かりやすいのですが、昔、ローマという国の皇帝アウグストゥスが、自分が生まれた8月が小の月なのは嫌だと言って1日増やして31日までにしまったので、どこから1日減らさなくてはいけなくなって2月から1日減らすことにしたのだそうです。なぜ2月から減らしたのかというと、その頃ローマでは、2月が1年の終わりで3月が1年の初めだったので、1年の最後の日から減らせばいいと考えたからだそうです。なんだかちょっといい加減です。365日の年は、2月をもう1日減らしたので、2月は28日になってしまい、短いと感じる月になってしまいました。

さて、この2月は、冬のオリンピック・パラリンピックが行われることが多いです。今年も今週の金曜日から、韓国のピョンチャンで開かれます。みなさんも、次の東京オリンピック・パラリンピックのマスコットキャラクターを各クラスで話し合っ選んでくれましたが、ピョンチャンオリンピックのキャラクターは、白い虎スホラン、パラリンピックは黒い熊バンダビで忍耐や勇気を表しているそうです。選手には勝つことが求められますし、選手自身も勝ちたいと思うでしょうが、これまでの苦しい道のりも含め、オリンピック・パラリンピックでは、「強い心」と「考える力」を育てていこうとしています。

さて、韓国は、日本のお隣の国ですが、私はピョンチャンが韓国のどのあたりにあるのかがよく分からなかったので調べてみたら、韓国の北東の方にあって、800mから1400mくらいの高原にあるので、2月の平均気温はマイナス8度、雪もけっこう積もるところだそうです。ピョンチャンオリンピック・パラリンピックでは、フィギュアスケートやスピードスケート、カーリング、アルペンスキー、ジャンプ、アイスホッケー、スノーボード、ノルディック複合など、102種目に92の国の選手が3000人くらい集まって協議や演技をします。

ピョンチャンには、この間、戸三小に来てくださった鈴木明子さんもテレビで選手や演技について伝えるために行くそうです。選手だけでなくコーチやトレーナーが行くのはもちろんですが、外国語大学の学生も通訳としてたくさん行くそうです。オリンピックやパラリンピックへの参加の仕方いろいろあるので、私も東京オリンピック・パラリンピックの時には、ボランティアとして参加したいなと思います。みなさんも、小学生や中学生でもできることを、みつけながら、テレビで応援しましょう。

4年生の「絵」の表彰をしました。